



オペレッタ

エンディングは韓国・朝鮮の大道芸を楽しんでください。

# トラの恩がえし

おん

子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から人と人との「生きあう力」へ

はるか昔から、ユーラシア大陸の東にある大きな半島と列島の自然と人々が関わり、  
他にない自然と文化を形作ってきました。

トラの毛皮で金儲けする人間とその人間を食うトラ。  
トラと人間 いがみ合う二つの世界に、  
あたたかい小さな灯がとります。  
こえられないと思っていた心の壁がとけはじめます。

思いやりと優しさが心の垣根を取り除く  
思いやりと優しさが新しい世界を開く

原作:韓国・朝鮮の民話から  
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽他  
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム  
美術:内山勉 新井真紀  
出演者による集団創作(デバイジング)

## オペレッタ劇団ともしび

お申込み

電話 03-6907-2731  
<http://www.tomoshibi.co.jp>

FAX 03-6907-3812  
Email [info@tomoshibi.co.jp](mailto:info@tomoshibi.co.jp)



2021年 第49回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル参加  
**2021年7月30日(金) 13:30開場 14:00開演**  
**板橋区立文化会館2F 小ホール(153席限定)**  
主催:日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)

前売り2,000円(税込)  
当日2,500円(税込)  
4才以上 全席指定  
団体割引あり

# オペレッタ おん トラの恩がえし



## ☆制作意図

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語り継がれているお話です。

トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎しみあうという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安泰を願わない日はありません。優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えてたがいの人格を尊ぶ心を育てます。

芸術作品は子どもたちの心を育てます。



## ☆「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。人間はトラの毛皮を宝物として珍重し、一方トラは人間を食うので、お互いに恐れあい、憎しみあっていました。

山奥で母親と二人で暮らす若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。

思いがけず助けられたトラは、ケガがなおると木こりへの恩がえしを始めるのでした。しかし、最後の恩がえしは…



韓国・朝鮮の楽器



## ☆韓国・朝鮮の大道芸

韓国・朝鮮の農村では、旅芸人によって伝統的な踊り、芝居、演奏、パンソリ、曲芸などが村の広場(マダン)で行われました。集団は芸能の宝庫であり、村人は厳しい農作業を休み、共に歌い、笑い、踊りあって1日を過ごしました。

「トラの恩がえし」公演では、大道芸でフィナーレを飾ります。



体育館での舞台と客席

上演時間75分 休憩なし

## 板橋区立文化会館 アクセス

東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約3分

都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約7分

一般来場者の駐車スペースはありませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

